

住人百色 10

生まれ育った場所で働く



県の企業誘致によって本市に開設され、ことして10年目を迎える「株式会社 KDDI エボルバ」のコールセンターでは、UJI ターン者を含む多くの市民の皆さんが活躍しています。「県外に出てからも、いずれは長崎に住みたいという思いと、地域に根差した企業で働きたいという思いがありました」と話すのは、福田幸生さん。2年前に福岡から故郷である本市に戻り、同社に就職しました。

現在の職場について「人間関係が良くてとても働きやすいです」と笑顔で話す福田さん。「お客さまからの電話に直接対応し、売り上げに貢献している『コンタクトスタッフ』を一番大事にするというのが、この会社の考えです。一般の社員はもちろん、パートやフリーターの人も働きやすい職場だと思います」

仕事のやりがいについて尋ねると「お客さまと接する中で、時にはご不満やお怒りなどのご意見をいただくこともあります。そういった電話に誠意を持って対応し、最終的に円満解決できたときなどは喜びを感じます」とのこと。

「一度県外に出て、佐世保には良いところがいっぱいあるな、と改めて感じました。人柄が温厚で、雰囲気も柔らかい人が多いと思います」と福田さん。本市の好きなものを尋ねると「海鮮類がおいしいですね。小佐々に住んでいるので、特にそう思います」と話してくれました。

今後の目標を尋ねると「仕事のスキルアップはもちろんですが、一人の大人としてまだまだ未熟な点が多いので、早く精神的に成長して一人前になりたい」と話し、「今は実家で暮らしているので、環境に甘えないように気を付けているんですよ」と笑顔を見せてくれました。取材に応じる様子から、誠実な人柄が感じられました。

(取材日 4月3日)

株式会社 KDDI エボルバ 崎岡町 2720-8 ☎ 26-5014

「ヒジキの酢の物」からの変身レシピ!

具入り おいなり



材料 (2人分)

ヒジキの酢の物	150g	ヒジキの酢の物	2人分
白ごはん	茶わん2杯分	乾燥ヒジキ	5g
うす口しょうゆ	小さじ1	春雨	10g
いなり用油揚げ	6枚	キュウリ	1/4本
(味付きのもの)		塩(塩もみ用)	少々
		卵	1個
		砂糖	少々
		塩	少々
		油	小さじ1
		酢	大さじ2
		砂糖(甘酢用)	大さじ2

作り方

- ①ヒジキの酢の物と白ごはんを混ぜ合わせ、うす口しょうゆを加える
- ②①を油揚げに詰める

【ヒジキの酢の物レシピ】

- ①ヒジキと春雨と一緒にゆでる。キュウリは千切りにして塩もみする
- ②フライパンに油を熱し、卵に砂糖と塩を加えていり卵を作る
- ③砂糖と酢を混ぜ合わせて甘酢を作る(砂糖が溶けきれなければ電子レンジで加熱する)。①②を全て合わせて甘酢である



考えていただいた人
 佐々野瑛士さん
 (佐世保北中1年・当時)
 ●料理のワンポイント
 酢の物に甘酢を使用することで、アレンジ後のごはんを酢飯に近づけました

●平成28年度ヘルシークッキングコンテスト「優秀賞」

※このコーナーでは料理の残り物や市販の既製品・総菜にひと工夫した変身レシピを紹介しています。

お便り

市民の方から寄せられた市政への質問などに回答します。

質問 指定のごみ袋の購入補助券がないと、ごみ袋が高くなるのはなぜですか？

回答 本市では、平成17年から家庭ごみの「2段階有料化制度」を導入しました。この制度は、1人当たり購入補助券5枚分(年間900円)までのごみ処理が無料で、これを超えた場合に有料(180円当たり840円)とすることで、市民の皆さんにごみの減量化と分別の徹底に努めてもらうことを目的としています。この840円という金額は、ごみの収集・運搬・処理・埋め立て費用を、市とごみの排出者である市民の皆さんで半分ずつ負担するという考え方から算出しています。

他の自治体が導入しているごみ有料制度の多くは、袋1枚目から「ごみ処理手数料」が加算されています。袋1枚当たりの単価が安く、

金銭的な負担を感じにくいですが、結果的には全ての市民が手数料を負担していることとなります。本市と同様の制度を導入している自治体は少ないのが現状ですが、この制度の導入後、多くの市民の皆さんにごみの減量化に努めていただき、家庭ごみはピーク時の8万トンを(平成12年)から40%の減量化に成功し、現在では年間約5万トンを維持することができています。また、94%のごみが、購入補助券の範囲内で処理されています。市民の皆さんのご意見を踏まえながら、より分かりやすい制度となるよう努めていきますので、今後ともごみの減量化にご協力をお願いします。

◎廃棄物減量推進課 ☎ 32-2428

広報クイズ

問題の○に当てはまる文字等をお答えください。ヒントは紙面の中にあります。

問題1

本市では、本年度からこの恵まれた環境を生かし、○○○○人材を育てる官民連携事業をスタートします。

問題2

6月1日(木)から、市役所本庁舎1階を「くらしの○○プラザ」としてリニューアルします。

問題3

4月からNBC長崎放送の○○○放送を活用した市政情報の配信を行っています。

【広報させば】満足度アンケート

次の①～④のうち、当てはまる番号をお答えください。
 ①大変良い ②良い ③不満 ④大変不満

5月号プレゼント 「富重製菓の茶ロールと新茶セット」を10人に!



※写真はイメージです。

粒あんとサクサクのパイ生地、バタークリームを世知原茶が入ったスポンジで包んだスイーツです。世知原茶の新茶をセットにして、10人にプレゼントします。

※茶ロールは山暖簾で限定販売しています。

◎農業畜産課 ☎ 24-1111

応募方法

「はがき」または「Eメール」に、①クイズの答え②「広報させば」満足度アンケートの該当番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦広報紙へのご意見を書いて、5月22日(月)までに(消印有効)広報係へ。※応募は1人1通、全問正解者の中から抽選します。発表は発送(6月中旬)をもって代えさせていただきます。

4月号の答え ①予防 ②公共 ③ラジオ 3月号の応募状況 176通(正解166・不正解10)

宛て先 はがき 〒857-8585(住所不要) 佐世保市役所秘書課広報係宛て

Eメール hishok@city.sasebo.lg.jp(携帯電話からも可)